

科目名		建築材料			
担当教員	目黒 敬也		実務授業の有無	○	
対象学科	建築士学科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	16時間
授業概要、目的、授業の進め方	建築物を構成する様々な材料の種類と性質を座学や事例を通して学ぶ。 1. 木材、コンクリート、鋼材等建築に必要な材料の特徴や使用方法を学ぶ。 2. 建築設計と関係が深いことを認識し、工法と材料の構成の基本と重要性を理解する。 3. 講義→小テスト→解答→解説を繰り返すことで習熟度を上げる。				
学習目標 (到達目標)	建築物を構成する様々な材料の種類と性質を理解し、快適な空間を作るための材料の使用法などの基礎知識の習得する。また、建築士2級の筆記試験範囲にあたる内容のため、合格点に達する習熟度を目標とする。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	①図説 やさしい建築材料				
NO.	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	木材-1 ①木材の種類と特徴		方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 達成目標：項目①を理解する 準備学習：教科書①の予習		
2	木材-2 ①木材の種類と強度、 ②含水率と強度の関係		方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 達成目標：項目①～②を理解する 準備学習：教科書①の予習		
3	木材-3 ①木材の木取り、規格 ②エンジニアリングウッド		方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 達成目標：項目①～②を理解する 準備学習：教科書①の予習		
4	小テスト①		項目1～4の内容を抜粋し小テストを実施。 準備学習：項目1、2を教科書、プリントなどで復習		
5	コンクリート-1 ①コンクリートを構成する材料 ・(セメント・骨材・水・混和材料)の種類と特徴		方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 達成目標：項目①を理解する 準備学習：教科書①の予習		
6	コンクリート-2 ①コンクリートの性質		方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 達成目標：項目①を理解する 準備学習：教科書①の予習		
7	コンクリート-3 ①コンクリートの種類と特徴		方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 達成目標：項目①を理解する 準備学習：教科書①の予習		
8	小テスト②		項目5～7の内容を抜粋し小テストを実施。 準備学習：項目1、2を教科書、プリントなどで復習		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
期末試験・小テスト・平常点で評価する。 期末試験70% 小テスト20%、平常点10% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			建築設計に必要な知識としてそこに利用される材料の特徴や性質を理解した上で、設計への見聞を広げる。また定期的に小テストを行い習得状況の確認する。また、繰り返し行うことで重要なポイントをしっかりと理解させる。習熟度を上げるために、正解率の低い回答については、十分な解説を行う。		
実務経験教員の経歴 建築大工として約5年実務に携わる					

科目名		建築材料			
担当教員	目黒 敬也		実務授業の有無	○	
対象学科	建築士学科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数		時間数	16時間
授業概要、目的、授業の進め方	建築物を構成する様々な材料の種類と性質を座学や事例を通して学ぶ。 1. 木材、コンクリート、鋼材等建築に必要な材料の特徴や使用方法を学ぶ。 2. 建築設計と関係が深いことを認識し、工法と材料の構成の基本と重要性を理解する。 3. 講義→小テスト→解答→解説を繰り返すことで習熟度を上げる。				
学習目標 (到達目標)	建築物を構成する様々な材料の種類と性質を理解し、快適な空間を作るための材料の使用法などの基礎知識の習得する。また、建築士2級の筆記試験範囲にあたる内容のため、合格点に達する習熟度を目標とする。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	①図説 やさしい建築材料				
NO.	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	鉄鋼の種類、鋼材の特徴と性質 ①鉄鋼の利用・用途 ②鋼材の長所・短所 ③鋼材の性質		方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 達成目標：項目①～③を理解する 準備学習：教科書①の予習		
2	鋼材の規格 ①鋼材の分類、形状、用途		方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 達成目標：項目①を理解する 準備学習：教科書①の予習		
3	非鉄金属 ①非鉄金属の種類、特徴、用途		方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 達成目標：項目①を理解する 準備学習：教科書①の予習		
4	小テスト①		項目1～4の内容を抜粋し小テストを実施。 準備学習：教科書、プリントなどで復習		
5	焼製品 ①タイル、瓦、レンガ、衛生陶器の種類、特徴、用途		方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 達成目標：項目①を理解する 準備学習：教科書①の予習		
6	ガラスと石 ①ガラスの製造工程、種類、特徴 ②石の種類、用途、特徴		方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 達成目標：項目①～②を理解する 準備学習：教科書①の予習		
7	小テスト②		項目5～6の内容を抜粋し小テストを実施。 準備学習：教科書、プリントなどで復習		
8	左官材料とボード類 ①左官材料の種類、用途		方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 達成目標：項目①を理解する 準備学習：教科書①の予習		
9	その他材料 ①プラスチック材料と塗料の種類、用途、性質、特徴		方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 達成目標：項目①を理解する 準備学習：教科書①の予習		
10	部位別・性能別材料 ①内外部の仕上り材についてそれぞれの名称種類		方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 達成目標：項目①を理解する 準備学習：教科書①の予習		
11	小テスト③		項目7～10の内容を抜粋し小テストを実施。 準備学習：教科書、プリントなどで復習		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
期末試験・小テスト・平常点で評価する。 期末試験70% 小テスト20%、平常点10% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			建築設計に必要な知識としてそこに利用される材料の特徴や性質を理解した上で、設計への見聞を広げる。また定期的に小テストを行い習得状況の確認する。また、繰り返し行うことで重要なポイントをしっかりと理解させる。習熟度を上げるために、正解率の低い回答については、十分な解説を行う。		
実務経験教員の経歴 建築大工として約5年実務に携わる					